

【重要】本プログラムにより作成されたファイルの提出先について

本プログラムにより作成されたファイル（例：TMP99920050101100000.txt）については、報告者が御利用になっている電子メールソフト（メーラー）を使用し、本プログラムで作成されたファイルをメール添付した上で、以下のアドレス、件名及び本文で送信してください。

メールアドレス：toukei-houkoku@meti.go.jp

件名 : 石油動態報告

本文 : 石油動態報告

メール方式報告（メーカー機能無し）
操作マニュアル

平成 25 年 9 月 30 日

商標について

● Microsoft, Windows, WindowsNT は、米国マイクロソフトコーポレーションの登録商標です。

目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 概要 | 1 |
| 1.1 概要 | 1 |
| 1.2 システム環境 | 2 |
| 1.3 本文中の記号について | 3 |
| 2. メール方式報告（メーラー機能無し） | 4 |
| 2.1 インストール・アンインストール | 4 |
| 2.1.1 インストール手順 | 4 |
| 2.1.2 アンインストール方法 | 5 |
| 2.2 操作説明 | 6 |
| 2.2.1 起動方法 | 6 |
| 2.2.2 操作方法 | 11 |
| 2.2.3 システム設定確認方法 | 16 |

1. 概要

1.1 概要

本操作マニュアルは、石油動態報告用のメール方式報告（メーラー機能無し）の操作方法に関する操作説明を記述したものです。

マニュアルでは運用担当者が使用するアプリケーションのインストール・アンインストール方法と操作方法について説明しています。

1.2 システム環境

本システムをご利用になるために必要な環境は次の通りです。

◆ 対応システム

| | |
|------|--|
| OS | : Microsoft® Windows® Xp Microsoft® Windows® Vista Microsoft® Windows® 7 |
| 対象機種 | : 上記 OS が動作する機種 |
| CPU | : OS が必要とする CPU |
| メモリ | : OS が必要とするメモリ |

1.3 本文中の記号について

本文中の記号には次のような意味があります。

| | |
|---|-------------------------------------|
|  | 操作の際に注意していただきたいこと、守っていただきたいことを表します。 |
|  | 操作の際に参考にとすると良いことを表します。 |

2. メール方式報告（メーラー機能無し）

メール方式報告（メーラー機能無し）における機能の操作説明を行います。

2.1 インストール・アンインストール

メール方式報告（メーラー機能無し）を使用する場合のインストール方法と削除する場合のアンインストール方法を説明します。

2.1.1 インストール手順

プログラムが格納されたファイルを、石油情報報告に関する情報発信サイト >（電子）メール方式報告プログラム よりダウンロードして、ハードディスクにインストールします。

- ① 石油情報報告に関する情報発信サイトよりインストール用のプログラム「setupOutPutOVR.exe」をダウンロードします。
- ② ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
- ③ インストールプログラムが起動します。画面に表示される説明にしたがって操作して下さい。

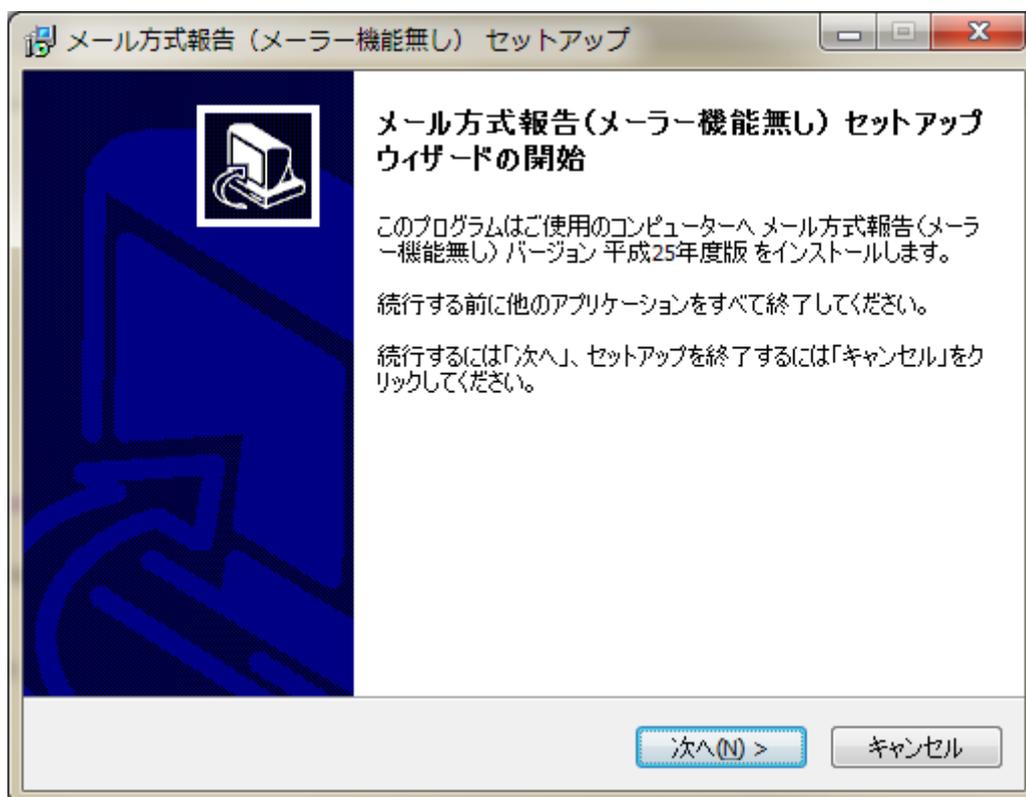


図 2.1.1-1 メール方式報告（メーラー機能無し）インストール画面

- ④ 「メール方式報告（メーラー機能無し）」がインストールされます。

2.1.2 アンインストール方法

- ① 「メール方式報告（メーラー機能無し）」を終了します。
- ② 「スタート」ボタンから「すべてのプログラム」を開きます。
- ③ 「メール方式報告」を選択し、「OutPutOVR」から「メール方式報告（メーラー機能無し）をアンインストールする」をクリックします。
- ④ アンインストールプログラムが起動します。画面に表示される説明にしたがって操作して下さい。

2.2 操作説明

メール方式報告（メーラー機能無し）は、指定した石油動態報告を圧縮・暗号化するシステムです。石油動態報告を「ドラッグアンドドロップ」又は、「ファイル追加」ボタンを使用して選択します。選択されたファイルは「添付ファイル一覧」に表示されます。そして、出力ボタンを押すことで、選択したファイルをシステムファイルのシステムグループの「ファイル出力先フォルダ」に、圧縮・暗号化した石油動態報告ファイルを出力します。

2.2.1 起動方法

1 メール方式報告（メーラー機能無し）起動

スタートボタンより

すべてのプログラム ⇒ メール方式報告 ⇒ OutPutOVR ⇒

メール方式報告（メーラー機能なし） を選択してください。

プログラムが起動し、メイン画面が表示されます。

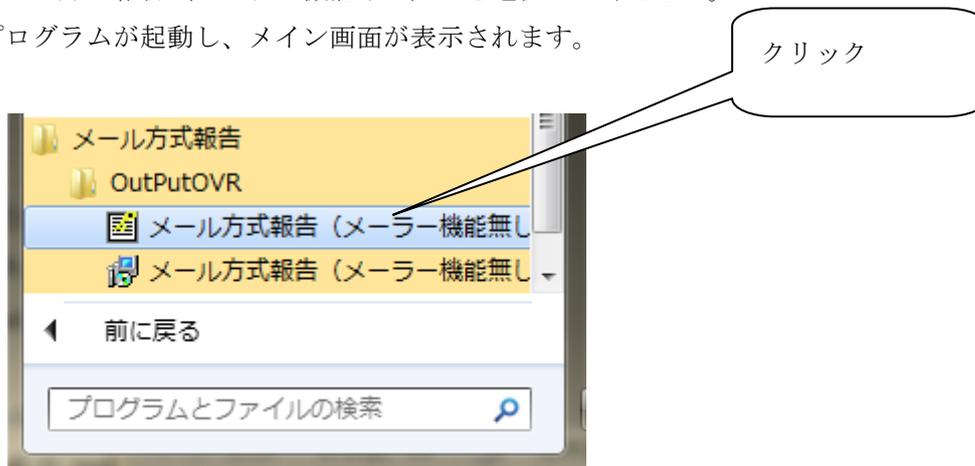


図 2.2.1-1 起動アプリケーションアイコン

インストール時に「デスクトップ上にアイコンを作成する」をチェックしている場合は、デスクトップのアイコン（）をダブルクリックしてください。メール方式報告（メーラー機能無し）が起動します。

2 初期設定

メール方式報告（メーラー機能無し）は、起動時に設定ファイルが存在しない場合、設定ファイルを作成します。

以下で、設定ファイルの作成手順を説明します。



図 2.2.1-2 初期設定確認メッセージ

メール方式報告（メーラー機能無し）を最初に起動した場合、初期設定を行います。「図 2.2.1-2 初期設定確認メッセージ」が表示されます。設定ファイルを作成する場合、を押してください。設定ファイルの作成を開始します。設定ファイルを作成しない場合、を押してください。設定ファイルの作成を中止して、メール方式報告（メーラー機能無し）を終了します。

 このダイアログは設定ファイルが作成されていない場合のみ表示されます。

 既に設定ファイルが作成されている場合、このメッセージは表示されず「4 添付ファイルの指定」へ進んでください。

3 設定ファイル作成

設定ファイルの作成手順を説明します。設定ファイルの作成画面は「図 2.2.1-3 設定ファイル作成画面」です。項目は上から順番に「ユーザー設定グループ」、「システム設定グループ」に分かれています。「ユーザー設定グループ」では、メール方式報告（メーラー機能無し）を使用するユーザーの項目を設定します。「システム設定グループ」では、メール方式報告（メーラー機能無し）で使用する項目の設定をします。各項目の中に、初期設定値が入力されている場合があります。これらの項目は、基本的に変更しないでください。変更する場合にのみ入力してください。

通常はこちら
をクリックし
ます。

図 2.2.1-3 設定ファイル作成画面

設定ファイルにはシステムで使用する、各種設定を記述します。各設定値の詳しい説明は以下の「【各設定項目の説明】」を参照してください。各種設定の入力が終わりましたら、**設定**を押してください。設定ファイルが作成され、メール方式報告（メーラー機能無し）が起動します。設定ファイルの作成を中止し、メール方式報告（メーラー機能無し）を終了させる場合、**終了**を押してください。設定ファイルは作成されず、メール方式報告（メーラー機能無し）は終了します。

⇒ 設定ファイルが存在しないとメール方式報告（メーラー機能無し）は起動しません。設定ファイルは必ず作成してください。

【各設定項目の説明】

表 2.2.1-1 ユーザー設定

| 項目 | 説明 | 設定例 |
|------------------------------|----------------------------|--------------|
| ユーザ設定グループ : 石油動態報告の為に必要な設定項目 | | |
| 報告 ID | 「石油動態報告」固定 | 石油動態報告 |
| ユーザ ID | 電子申請ログイン時に入力するユーザ ID と同じ | XXXXX |
| パスワード | 電子申請ログイン時に入力するパスワードと同じ | XXXXX |
| 返信メールアドレス | 石油動態報告送信後、送信結果を受け取るメールアドレス | XXX@XX.co.jp |

表 2.2.1-3 システム設定

| 項目 | 説明 | 設定例 |
|--|--|--|
| システム設定グループ : メール方式報告（メーラー機能無し）が動作するための設定項目 | | |
| ファイル出力先フォルダ | <p>メール方式報告（メーラー機能無し）で、圧縮・暗号化したファイルを出力するフォルダを指定します。</p> <p> 規定値は「マイ ドキュメント」です。</p> <p>  ボタンをクリックすると「図 2.2.1-3 ホルダー選択ダイアログ」が表示されます。ここからホルダーを選択してください。</p> | <p>C:\¥Documents And Settings ¥Administrator ¥My Documents</p> |
| LOG | <p>メール方式報告（メーラー機能無し）で、処理が実行された際に出力される履歴ファイルを、保存するホルダーを設定します。</p> <p> 規定値は「マイ ドキュメント」です。</p> <p>  ボタンをクリックすると「図 2.2.1-3 ホルダー選択ダイアログ」が表示されます。ここからホルダーを選択してください。</p> | <p>C:\¥Documents And Settings ¥Administrator ¥My Documents</p> |
| 添付ファイル LOG | <p>メール方式報告（メーラー機能無し）で作成された添付ファイルが、保存されるホルダーです。</p> <p> 規定値はシステムがインストールされているホルダーです。</p> <p>  ボタンをクリックすると「図 2.2.1-3 ホルダー選択ダイアログ」が表示されます。ここからホルダーを選択してください。</p> | <p>C:\¥Program Files¥OutPutOVR</p> |
| 作業ホルダー | <p>システムで使用する作業領域です。</p> <p> 規定値はシステムがインストールされているホルダーです。</p> <p>  ボタンをクリックすると「図 2.2.1-3 ホルダー選択ダイアログ」が表示されます。ここからホルダーを選択してください。</p> | <p>C:\¥Program Files¥OutPutOVR</p> |

⇒ 設定情報は、本プログラムが動作するための必要な設定を行ないますので、必ず設定してください。設定内容がわからない場合は、システム管理者から聞いて設定をお願いします。

2.2.2 操作方法

1 ファイルの指定

メール方式報告（メーラー機能無し）で、石油動態報告を添付ファイルとする方法を説明します。

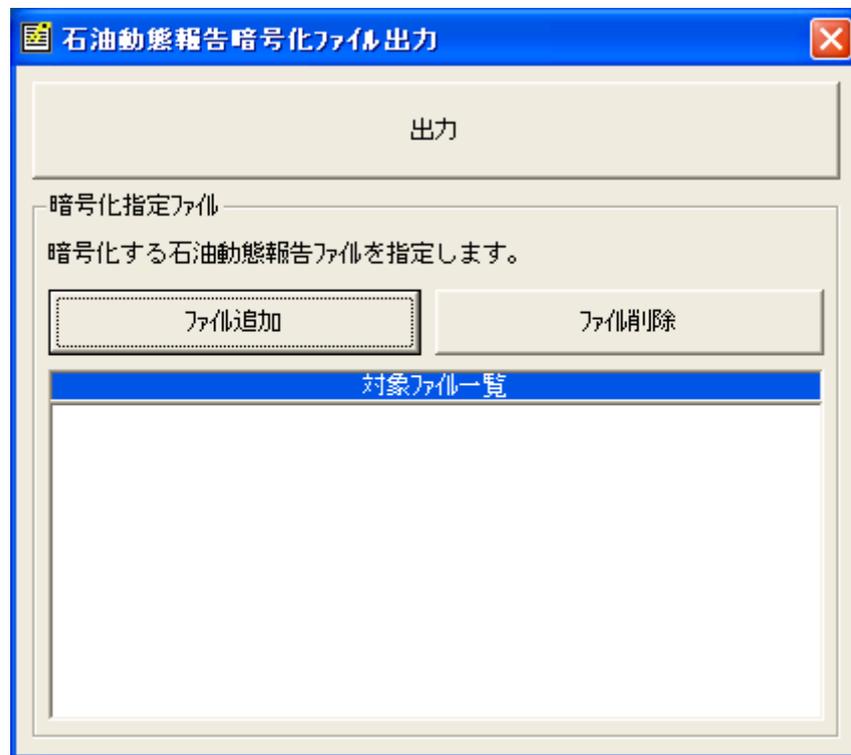
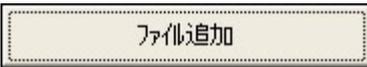
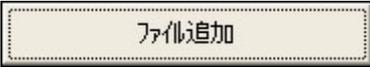


図 2.2.2-1 メール方式報告（メーラー機能無し）メイン画面

「図 2.2.2-1 メール方式報告（メーラー機能無し）メイン画面」が、メール方式報告（メーラー機能無し）のメイン画面です。を押して、「図 2.2.2-2 石油動態報告書選択画面」を起動して石油動態報告書を選択します。もしくは、エクスプローラやデスクトップからドラッグ&ドロップで石油動態報告のファイルを選択します。

を押すと、「図 2.2.2-2 石油動態報告書選択画面」が表示されます。

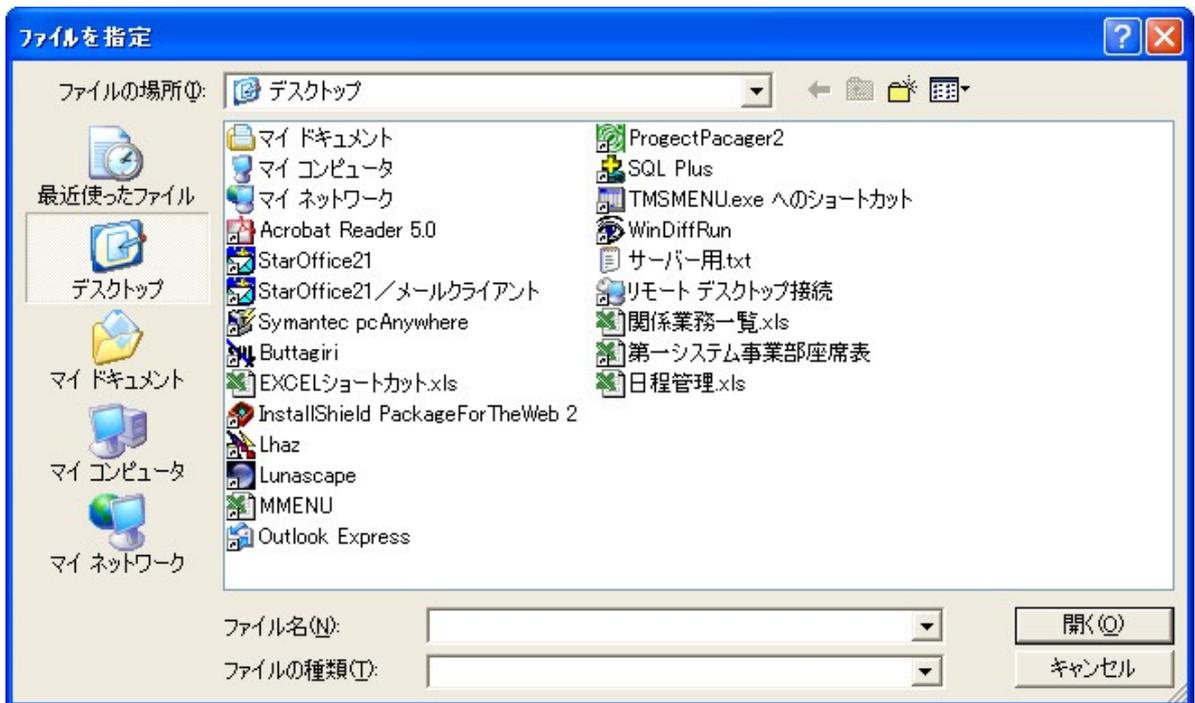


図 2.2.2-2 石油動態報告書選択画面

この画面から石油動態報告のファイルを選択してください。ファイルを決めし **開く(O)** を押すことでファイルが選択されます。選択されたファイルは添付ファイル一覧に表示されます。**キャンセル** を押すと操作を中止し、メイン画面に戻ります。

📖 同じファイルは、重複して指定することは出来ません。

📖 メール送信方式報告システムで予約されている「MAIN_TEXT.txt」というファイル名は指定できません。

2 ファイルの削除

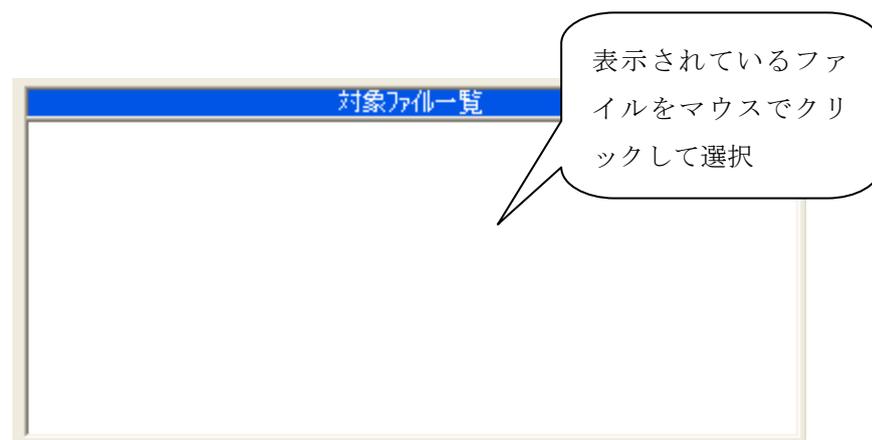


図 2.2.2-3 対象ファイル一覧画面

対象ファイル一覧に表示されているファイルの削除方法を説明します。「図 2.2.2-3 対象ファイル一覧画面」に圧縮・暗号化するファイルが表示されています。表示されているファイルをマウスでクリックして選択してください。選択状態のファイルは青く表示されます。削除するファイルを決定したら、を押してください。選択されたファイルが添付ファイル一覧から削除されます。

 複数ファイルを選択する場合、キーボードの「Ctrl」を押しながらクリックを実行すると複数のファイルを指定することができます。また、「Shift」を押しながらクリックを実行すると、範囲選択ができます。

3 暗号化ファイル出力

暗号化の対象ファイルの指定が終了し、動態報告の暗号化を開始する準備が整ったら、を押してください。対象ファイル一覧に表示されているファイルの圧縮・暗号化を開始いたします。

⇒ 対象ファイルを必ず指定してください。対象ファイルが指定されていない場合、エラーメッセージが表示されて圧縮・暗号化処理を開始することが出来ません。

4 圧縮・暗号化処理完了

圧縮・暗号化が完了すると、「図 2.2.2-4 暗号化完了メッセージ」が表示されます。



図 2.2.2-4 暗号化完了メッセージ

圧縮暗号化完了メッセージで表示される日付は、石油動態報告を圧縮・暗号化した日付が表示されます。このメッセージは、設定ファイルのシステム設定グループの「LOG」で指定したホルダーに、保存されます。圧縮・暗号化ファイルは「TMPXXXX（設定ファイルで指定するユーザー設定のユーザーID）YYYYMMDDhhmmss（圧縮・暗号化処理日時）.txt」というファイル名です。同じファイル名が、ファイルを出力するフォルダに存在する場合、上書きを確認するメッセージが表示されます。ファイルを上書きし処理を続行する場合、「はい」を選択してください。ファイルを新たに作成したい場合、

「いいえ」を選択して一度処理を中断し、再度「出力」を実行します。

5 メール方式報告（メーラー機能無し）終了手順

以下で、メール方式報告（メーラー機能無し）の終了の手順を説明します。

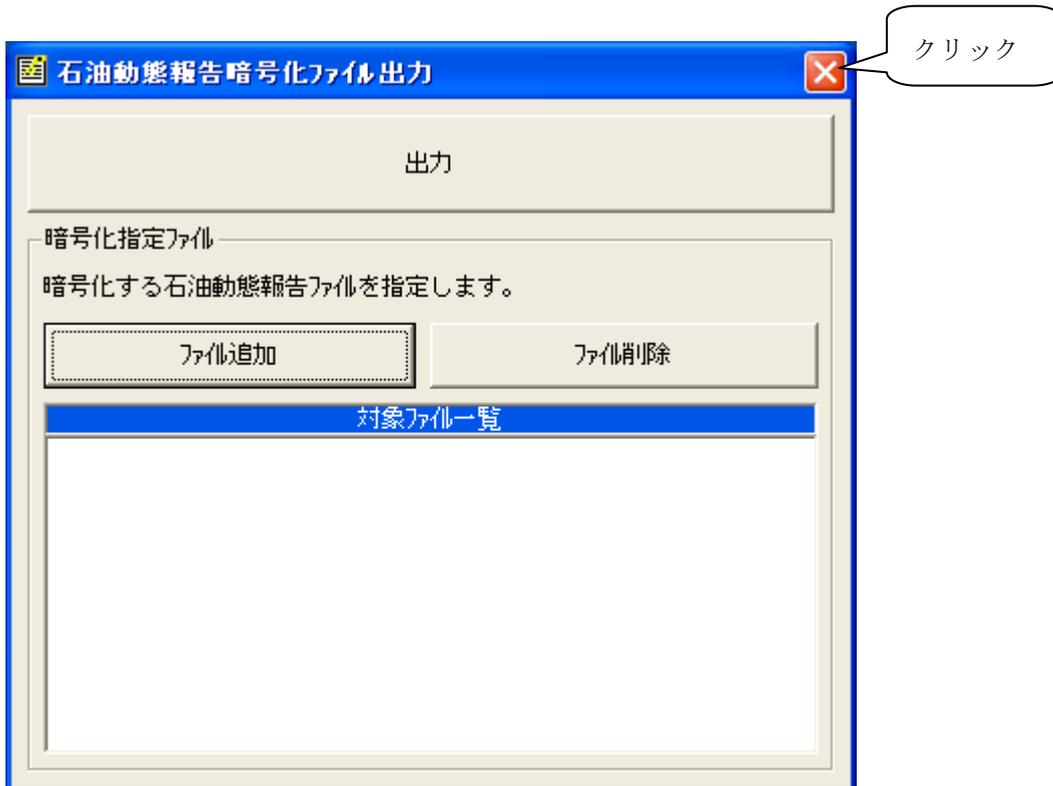


図 2.2.2-5メール方式報告（メーラー機能無し）メイン画面

メール方式報告（メーラー機能無し）には終了の方法が複数存在します。

一つ目は、ボタンで終了させる方法です。「図 2.2.2-5メール方式報告（メーラー機能無し）メイン画面」のように、右上にある「×」ボタンをクリックしてください。メール方式報告（メーラー機能無し）が終了します。

二つ目は、システムメニューから終了させる方法です。

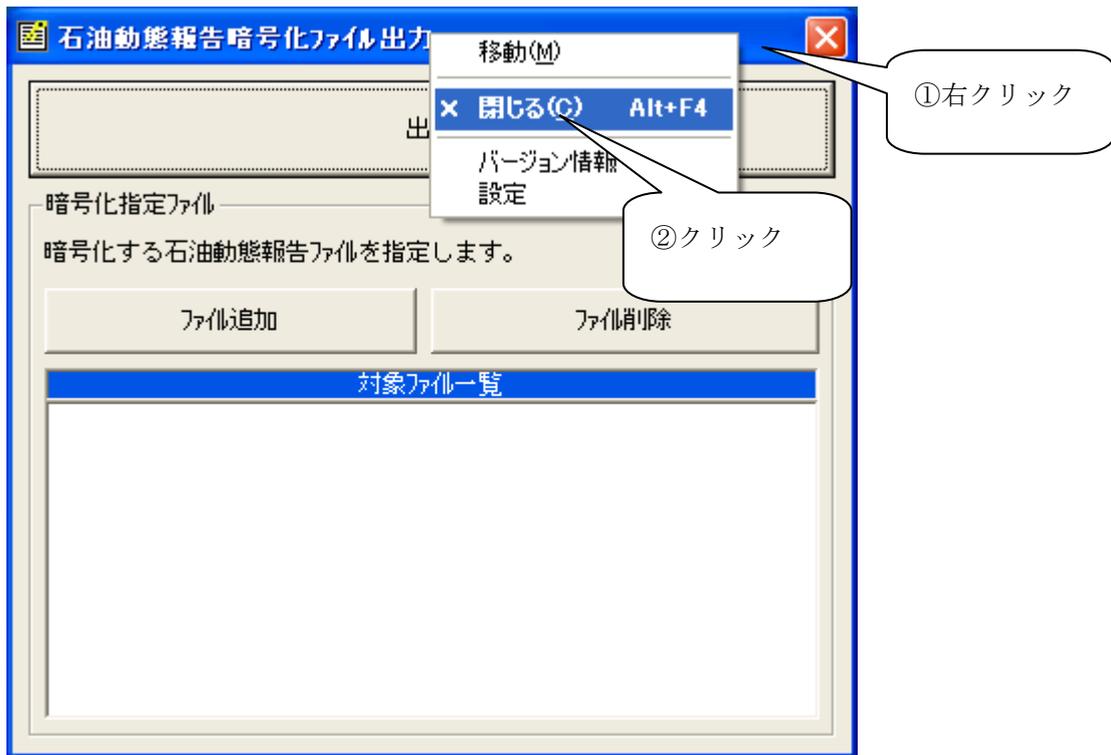


図 2.2.2-6 メール方式報告（メーラー機能無し）終了画面

「図 2.2.2-6 メール方式報告（メーラー機能無し）終了画面」のように、メール方式報告（メーラー機能無し）のタイトルバーで右クリックをします。右クリックをするとシステムメニューが表示されるので、表示されたシステムメニューから「× 閉じる(C) Alt + F4」を選択して、クリックしてください。メール方式報告（メーラー機能無し）が終了します。

2.2.3 システム設定確認方法

1 システム設定

作成したシステム設定を再度設定したい場合の手順を説明します。

メール方式報告（メーラー機能無し）を起動してください。「図 2.2.3-1 メール方式報告（メーラー機能無し）メイン画面」のように、メール方式報告（メーラー機能無し）のタイトルバーでマウスを右クリックします。右クリックすると、システムメニューが表示されます。表示されたシステムメニューから「設定」を選択してクリックしてください。

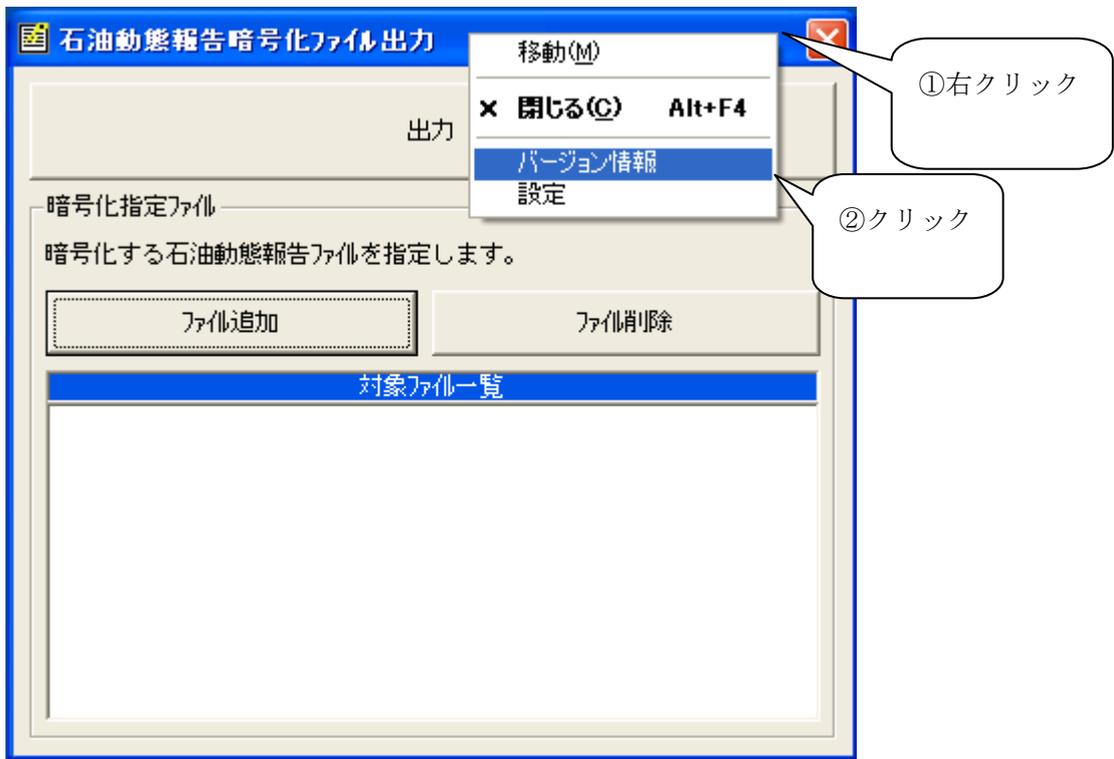


図 2.2.3-1メール方式報告（メーラー機能無し）メイン画面

以上の操作を完了すると、「図 2.2.3-2 システム設定画面」が表示されます。この画面で、システムに設定する各種項目を入力してください。各種項目の詳しい説明は「2. 2. 1メール方式報告（メーラー機能無し）起動方法 3設定ファイルの作成」を参照してください。

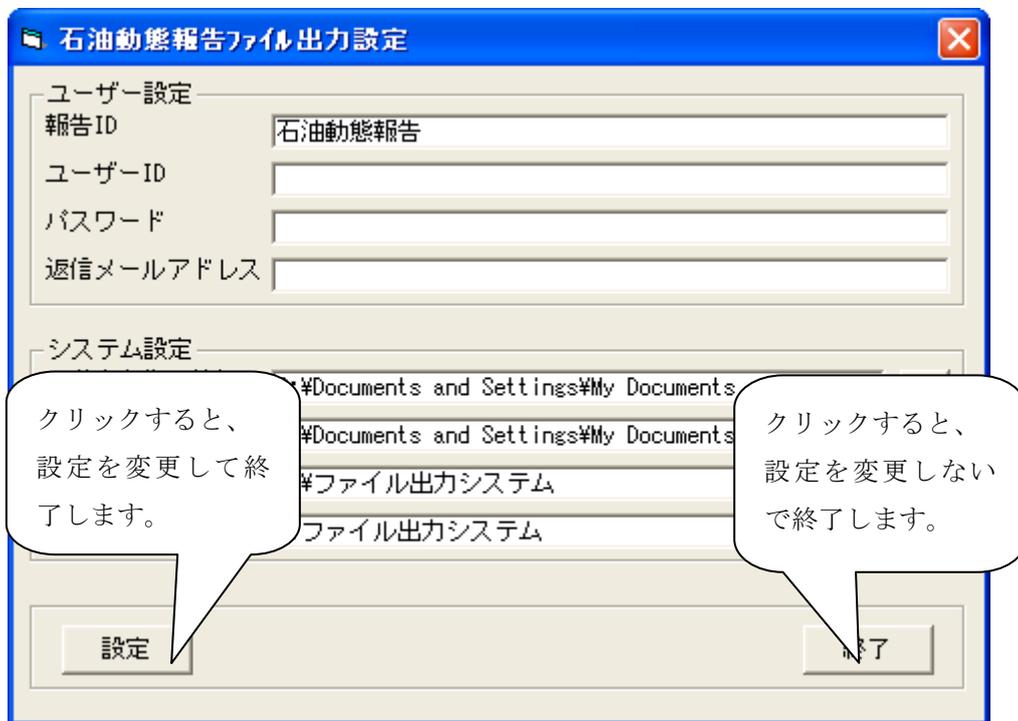


図 2.2.3-2 システム設定画面

画面に入力する値を入力し終わったら、入力した各種設定を設定ファイルに保存します。**設定**をクリックすると、画面に表示されている内容で、メール方式報告（メーラー機能無し）の設定を行います。設定を保存しないで終了する場合、**終了**を押してください。設定ファイルの内容を変更しないでシステム設定を終了します。システム設定画面が終了すると、メイン画面が表示されます。

⇒ **終了** ボタンでは設定ファイルの変更は行われません。設定を行う場合は必ず、**設定** をクリックしてください。

⇒ **終了** ボタンではメール方式報告（メーラー機能無し）は終了しません。

2 バージョン情報確認

バージョン情報を確認したい場合、「図 2.2.3-3 システムメニュー画面」を参考にしてください。まず、メール方式報告（メーラー機能無し）のメイン画面の上部のタイトルバーでマウスを右クリックします。右クリックするとシステムメニューが表示されるので、表示されたシステムメニューから、「バージョン情報」を選択して、クリックします。

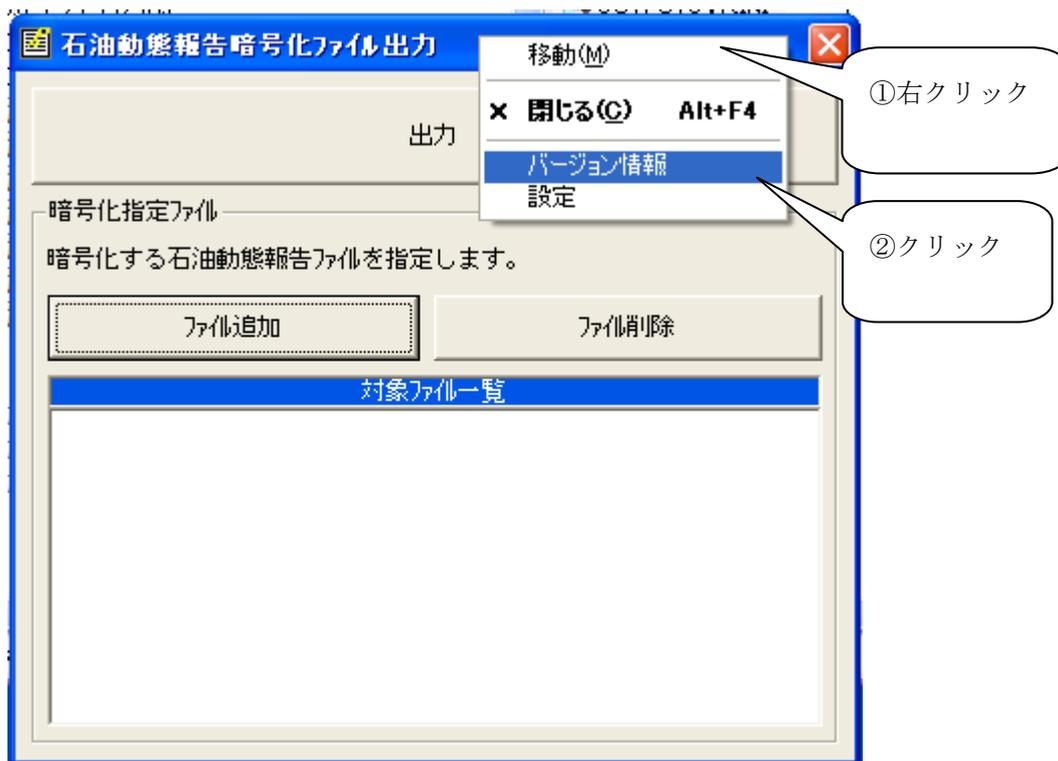


図 2.2.3-3 システムメニュー画面

「図 2.2.3-4 バージョン情報画面」が表示されます。

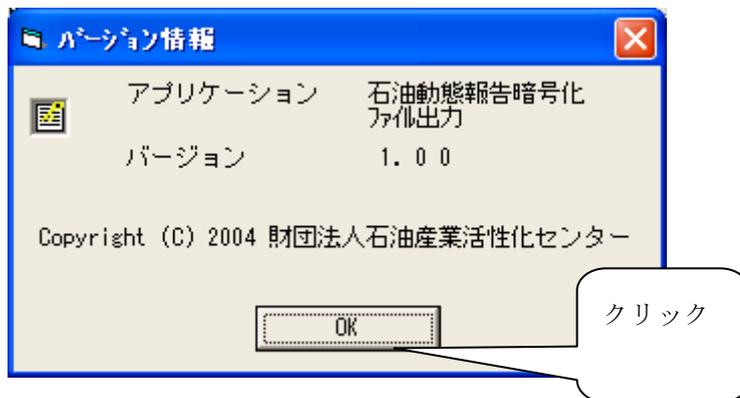


図 2.2.3-4 バージョン情報画面

表示された画面に、アプリケーション名とバージョン情報が表示されます。確認が終了したら、をクリックしてください。バージョン情報画面が終了しメール方式報告（メーカー機能無し）のメイン画面が表示されます。

3 INIファイル内容確認手順

INIファイルはメール方式報告（メーラー機能無し）がインストールされているホルダーにあります。システムファイルの名前は「OutPutOVR.INI」です。特に必要のある場合以外、設定ファイルはシステムから変更してください。「表 2.2.3-1 ユーザー設定」がメール方式報告（メーラー機能無し）と設定ファイルの対応表です。

【各設定項目の説明】

表 2.2.3-1 ユーザー設定

| セクション名 | キー名 | 「メール送信設定画面」の対応項目名 |
|--------|-------------|--|
| USER | | 「ユーザー設定グループ」 |
| | HOUKOKU | 「ユーザー設定グループ」 - 「報告 ID」 |
| | USERID | 「ユーザー設定グループ」 - 「ユーザー ID」 |
| | PASSWORD | 「ユーザー設定グループ」 - 「パスワード」 ⇒ この項目は暗号化されているので、直接編集できません。 |
| | MAILADDRESS | 「ユーザー設定グループ」 - 「返信メールアドレス」 |
| SYSTEM | | 「システム設定グループ」 |
| | OUTPUT | 「システム設定グループ」 - 「ファイル出力先フォルダ」 |
| | LOG | 「システム設定グループ」 - 「LOG」 |
| | TEMPLOG | 「システム設定グループ」 - 「添付ファイル LOG」 |
| | TEMP | 「システム設定グループ」 - 「作業フォルダ」 |

ファイルを編集する場合、この対応表を参考に格項目を設定してください。

「図 2.2.3-5 設定ファイル内容例」が設定ファイルの内容例です。こちらも設定ファイルを直接編集する際に参考にしてください。

```
[USER]
HOUKOKU=石油動態報告
USERID=999
PASSWORD=XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
MAILADDRESS=XXXXXX@XX.XX

[SYSTEM]
OUTPUT= C:\Documents and Settings\My Documents
DATA= C:\Documents and Settings\My Documents
LOG= D:\Program Files\OutPutOVR
TEMP= D:\Program Files\OutPutOVR
```

図 2.2.3-5 設定ファイル内容例

4 暗号化ファイル出力ログの内容の確認手順

ファイル出力ログは、ファイルの暗号化の完了時に表示されるメッセージを保存します。このメッセージを読むことで、暗号化の実行時間を知ることができます。メール方式報告（メーラー機能無し）は、システムファイルの「システム設定グループ」の「LOG」で指定したホルダー（標準で指定されるホルダーは、マイドキュメントです。）の中に「SEKIYU_REPORT」ホルダーを作成します。このホルダー内に、LOGファイルを作成します。ファイル名は「R_MESS 年月日（8桁）時分秒（6桁）.txt」です。ファイル名の例としては「R_MESS20041001120000.txt」といった名前があります。これは、2004年10月01日の12時00分00秒にファイルの暗号化が実行されたことを表します。暗号化の処理1回につき、LOGファイルの一つを作成します。同じ名前のファイルが存在する場合、上書きされます。ファイルの内容は「図 2.2.3-6 暗号化ログ内容例」のようになります。

石油動態報告ファイルは 2005 年 01 月 01 日 10 時 00 分 00 秒正常に出力されました。
出力ファイル名は TMP99920050101100000.txt です。

図 2.2.3-6暗号化ログ内容例

また、メール方式報告（メーラー機能無し）では、暗号化で指定したファイルを保存する機能があります。システムファイルの「システム設定グループ」の「添付ファイルLOG」で指定したホルダーの中に「年月日（8桁）_時分秒（6桁）」ホルダーを作成します。ホルダー名の例は「20040929_104014」です。これは、メールが2004年9月29日の10時40分14秒に送信されたことを表します。そのホルダー内に、暗号化ファイルとして指定したファイルが保存されます。

5 エラーログ内容の確認手順

メール方式報告（メーラー機能無し）でエラーが発生した場合、画面にエラーメッセージが表示されます。

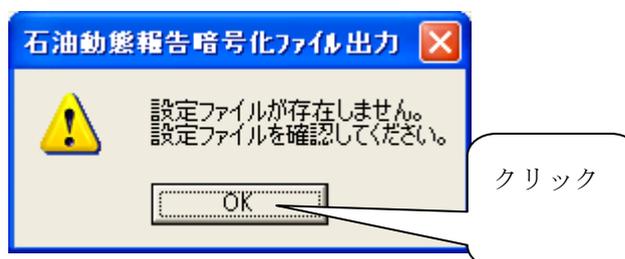


図 2.2.3-7 エラーメッセージ

エラーメッセージはエラーの内容を表しています。をクリックすると、エラーメッセージは閉じてしまいます。このためエラーメッセージを確認したい場合、エラーログファイルを確認する必要があります。エラーログファイルはメール方式報告（メーラー機能無し）がインストールさ

れているフォルダに作成されます。ファイル名は「Err_年月日時分秒（14桁）.LOG」です。ファイル名の例は「Err_20040928104506.LOG」です。これはエラーが2004年09月28日に発生したことを表します。エラーの発生1回につき、1ファイル作成されます。同じ名前のファイルが存在する場合、上書きされます。このファイルの内容例を示したのが「図 2.2.3-8 LOG ファイル内容例」です。

設定ファイルが存在しません。
設定ファイルを確認してください。 ,INI ファイル存在エラー

図 2.2.3-8 LOG ファイル内容例

6 エラーメッセージ一覧

表 2.2.3-2 エラーメッセージ一覧

| 画面名 | | エラーメッセージ | エラー原因 |
|--------------------------|-----------|---|---|
| メール方式報告 (メーラー機能無し) 起動 | | 二重起動はできません。 | 既に、メール方式報告 (メーラー機能無し) が起動しています。 |
| | | ADVAPI32.DLL のバージョンが X.X.X.X です。ADVAPI32.DLL のバージョンが 4.0.950.0 より新しいバージョンを使用してください。 | 暗号化 DLL のバージョンが古く、システムを衣装することができません。最新の Internet Explorer をお使いください。 |
| | | BSMTP.DLL が見つかりません!! | メール方式報告 (メーラー機能無し) に必要なファイルがインストールされていません。システムがインストールされているファイルを確認してください。 |
| | | CAB32.DLL が見つかりません!! | |
| CAPICOM.DLL が見つかりません!! | | | |
| メール送信設定 | 画面表示 | INI ファイルを取得中にエラーが発生しました。 | 再度、設定ファイルを作成してください。 |
| | 設定」ボタン押下時 | XXX が未入力です | 必須入力項目が、未入力状態である。  対処方法：指摘箇所を入力する。 |
| | | XXX が入力文字数をオーバーしています | 入力可能な文字数を超過して入力されているため。  対処方法：指摘箇所を適切に修正する。 |
| | | メールアドレスの指定に間違いがあります。 | メールアドレスの入力が誤っているため。  対処方法：メールアドレスを修正してください。 |
| | | XXX が存在しません。 | 「XXXXXXXXXX」フォルダが存在しないため。  対処方法：ホルダーを確認してください。 |
| 暗号化出力画面 | ドラッグ&ドロップ | そのオブジェクトはリストに追加できません。 | リストにはファイルのみ指定できます。ファイル以外をドラッグ&ドロップしても、添付ファイルリストには追加できません。  対処方法：ファイル名をドラッグ&ドロップしてください |
| | | 既に選択されているファイルです | リストには同じファイルを重複して指定することは出来ません。  対処方法：ファイル名を変更して、指定してください。 |
| | | システムで予約されているファイル名です。 ファイル名を変更して再度指定してください。 | メール方式報告 (メーラー機能無し) で使用するファイル名です。  対処方法：ファイル名を変更してください。 |
| | 「出力」ボタン押 | 設定ファイルが存在しません。 設定ファイルを確認してください。 | 設定ファイルが削除されたため。  対処方法：設定ファイルを再作成してください。 |

| | | | |
|-----|-----|---|---|
| | 下時 | 作業フォルダの指定に誤りがあります。 設定ファイルの作業フォルダを確認してください。 | 設定ファイルの作業フォルダに記入されているホルダーが存在していない可能性があります。  対処方法：設定ファイルを確認してください。 |
| | | ログファイルを出力するフォルダの指定に誤りがあります。 | 設定ファイルの LOG に記入されているホルダーが存在していない可能性があります。  対処方法：設定ファイルを確認してください。 |
| その他 | その他 | その他エラーが発生する場合があります。 |  対処方法：エラーLOG ファイルを開き、エラーメッセージを確認してください。  対処方法：設定ファイルに正しい値が入力されているか、確認してください。 |